

但馬の地域資源を考える。

（RRM大学院生の研究成果）

本研究科が開設されて10年となりました。現在、20代から70代の大学院生が在籍し、但馬各地で調査に励み、研究に打ち込んでいます。

地域資源マネジメント学の研究課題は、コウノトリの野生復帰やジオパークにとどまらず、歴史や地域づくりなど人の営みを広く含んでいます。

今回の研究報告会は、大学院生8名の研究成果発表を予定しており、今後の但馬の地域資源マネジメントのあり方を展望します。

2025.2/22 (土曜日) 13:00-17:00

PROGRAM

プログラム

13:00 - 13:05	開会
13:05 - 17:00	発表・質疑応答
	・糸賀 友紀 水辺の生き物たちの新たな生息場所ーマルチトープの保全効果ー
	・井上 陽人 但馬のレア生物 アベサンショウウオを守ろう
	・五枚橋大祐 大空からの帰還：コウノトリ幼鳥と成鳥の着陸テクニックに迫る！
17:00	・狐崎佐和子 コウノトリ達はどう生きるか。ーミトコンドリアにきくー
	・島田 慎吾 豊岡市のシカ対策 これまでと、これから。
	・末永 雄貴 シカの採食圧がノウサギに及ぼす影響
	・石 静綾 まちの歴史文化遺産と観光：日本の城下町と中国の古城を比較する
	・有道 俊雄 中等教育における地震防災教育の研究 (8名)
	閉会

参加費 無料 ※参加希望者多数の場合は、先着100名までとします。

申込締切 2月18日（火）※ただし、定員に満たない場合は当日まで受け付けます。

開催場所

出石永楽館

〒668-0234
兵庫県豊岡市出石町柳17-2
TEL.0796-52-5300



駐車場案内

駐車場は「西の丸駐車場」をご利用ください。駐車場入り口で、このチラシを提示してください。スタッフが「無料駐車券」をお渡しします。
※西の丸駐車場以外では駐車券の配布はありません。有料になります。
※西の丸駐車場から会場までは徒歩5分程度です。

申込方法

下記のQRコードよりお申し込みください。また、電話・FAXでもお申し込み頂けます。



電話 0796-34-6079

FAX 0796-22-5200

※氏名、住所、連絡先電話番号、車で来られる方は、「西の丸駐車場利用希望」と明記してください。

但馬で地域資源を 学びませんか？

生き物を学ぶ

エコ

人間社会を学ぶ

ソシオ



大地を学ぶ

ジオ



兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科
豊岡ジオ・コウノトリキャンパス



UNIVERSITY OF HYOGO

UNIVERSITY OF HYOGO

TOYOOKA GEO & KOUNOTORI CAMPUS



兵庫県立大学大学院
地域資源マネジメント研究科RRM

〒668-0814 豊岡市祥雲寺128(兵庫県立コウノトリの郷公園内)

兵庫県立大学豊岡ジオ・コウノトリキャンパス

※RRMとは、「Regional Resource Management」の略です。

TEL. 0796-34-6079

FAX. 0796-22-5200

E-Mail: rrm@ofc.u-hyogo.ac.jp

http://www.u-hyogo.ac.jp/rrm/



コウノトリ舞う、山陰海岸ジオパークの地で 地域資源マネジメントを学びませんか？

地域資源マネジメント研究科は、「地域に内在する自然・社会・文化のつながりを科学的に解明し本質的に理解する素養を身につけ、地域資源の発掘・保全・活用を実行できる人材の育成」を目的としています。全国でも貴重な地域資源（コウノトリ・ジオパーク等）が存在する兵庫県但馬地域を主なフィールドとし、2014年にスタートし、10周年を迎えました。

各研究領域の紹介

GEO 【ジオ分野】

ジオ研究領域の「ジオ」geo,とは「地球の」という意味です。大地と文化の関係について地形や地質の視点からひも解く研究をしています。研究を通じて、地域産業や教育の分野における新しい価値の創出や防災を支援します。

ECO 【エコ分野】

再導入されたコウノトリの野生復帰に向けた、様々な専門分野の研究手法を取り入れた総合的な研究や、その生息場である田園に生息・生育する動植物の生態学的な研究を行い、その理論に基づく実践スキルを開発します。

SOCIO 【ソシオ分野】

大地・自然・人間の関係の過去・現在・未来について、人文社会科学（歴史考古学・社会学・地理学）の立場から研究するとともに、私たちの社会を支えるさまざまな地域資源の保全や活用を考えます。

就職先例

- 豊岡市役所
- 山陰海岸ジオパーク推進協議会専門員
- 公益財団法人日本野鳥の会
- 環境コンサルタント会社など
- 朝来市役所
- 福知山公立大学（教員）
- 京都教育大学（教員）

4年間、土日に
通うだけでも
修了可能！

社会人も学びやすい仕組み

【長期履修制度】

職業を有している等の事情により標準修業年限では教育課程の履修が困難な場合、事情に応じて標準修業年限を超えて（3年以上4年まで）、計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位を取得することができる長期履修制度を設けています。授業料の総額は一般履修と同じです。

【授業時間割】

木曜～日曜に開講。主な授業を木金土に開講し、毎年、開講曜日をずらしします。このことにより、長期履修制度を活用している社会人学生が、土日に通学するだけで、全科目を履修できるようにしています。

入学試験

C日程・第2回入試

試験日

2025.3/2 (日)

願書受付

2/5 (水)～2/18 (火)

試験科目は小論文と口述試験です。 ※英語の試験はありません。

TOYOOKA GEO & KOUNOTORI CAMPUS

地域資源マネジメント研究科

大学院在学生の研究紹介

ジオ研究領域



崎山 正人

Masato Sakiyama

出身

京都府舞鶴市
（福知山市在住）

調査方法

各地を回って神社などに残されている石造物を実際に確認して、採寸、写真撮影、使われている石材の岩相観察、帯磁率測定を行い銘文・形状や特徴を記録する。

研究内容

もともと地域の歴史研究を行ってきた、石造物を資料にして地域の歴史を解明できるものと考えている。調査した石造物の種類や形状、石材によって分類し比較検討を行い、年代や地域による違いや変化の様子を見出す。地域間の差異や、時間的な変化を明らかにする事と、その背景や原因を明らかにすることが、地域の歴史の解明につながるものと考えている。

エコ研究領域



濱田 陸太郎

Rikutarō Hamada

出身

大阪府大阪市

調査方法

河川敷にピットフォールトラップを設置し、陸生節足動物の生息状況の把握を行います。

研究内容

降雨等による河川の増減水によって河川敷の環境は変化していきます。そのような特異的な場所に生息する陸生節足動物の種組成について研究しています。

ソシオ研究領域



石井 ひかる

Hikaru Ishii

出身

京都府京都市

調査方法

ホスト（観光受け入れ側）・ゲスト（観光客側）への聞き取り調査を行います。

研究内容

兵庫県朝来市にある生野銀山とその鉱山町を対象に、閉山した鉱山とその鉱山町がどのように観光化され、どのように観光資源として活用されているのかを研究しています。

GEO Study field

進学理由

石材に関する調査方法や評価方法など専門的な知識がなかったので、地質学など理化学的な専門的な学習をするため。歴史研究と理化学的な分野を融合して指導を受け研究を進めることができる環境であった。



ECO Study field

進学理由

学部生時代から研究の道を進みたいと考えていました。野外調査が好きなことと生態学に関心を持っていたので、豊岡というフィールドワーク調査を行いやすい環境を選びました。



SOCIO Study field

進学理由

エコ、ジオ、ソシオという3つの視点で地域資源を学べる環境に魅力を感じ進学しました。分野外の教員や学生の皆さんからアドバイスをもらえるところが特徴だと感じています。



生野鉱山町の様子